

Q

現在残る補助金等の今後の見直しについて

A

方針に基づき継続した見直しを実施したい



なか や ひさ こ 中 矢 寿 子



映像は こちらから

Q 平成22年度、春と秋2回にわたる事業仕分けで補助金等の見直しを実施された。その後何度かの見直しを繰り返して、現在残っている補助金等の件数・金額はどのくらいか。

A 平成22年度に「深谷市補助金等見直し方針」を策定し定期的な見直しを行ってきた。令和2年度予算に計上されている件数は、125件。10億4,391万6千円となっている。

Q 補助金制度の本来の目的と、受ける側に大きな乖離を感じる。意識改革をすべきではないのか。

A 補助金は税金を原資とすることの意識の共有が図られていくよう、毎年の手続きや事業実施等のやり取りの中で、補助事業者との関係構築に努めていきたい。

Q 一ふっかちゃんラッピングカーの件

A 令和3年度広告主募集結果は、



ふっかちゃんラッピングカー

A 当時の公用車の更新期にあたり、ふっかちゃんの移動手段を目的に購入。自主財源確保や市のPRに貢献していることから一定の効果がある事業と考える。

どうだったのか。

A 6カ所全ての広告枠が決まり、手続きを進めている。広告主募集の年間収入は48万円となる予定である。

Q この車両は、広告主募集のために購入したのか、公用車として購入したものを広告主募集用車両として活用しているのか。また、この事業の評価をどう考えるか。

Q

新型コロナのワクチン接種体制は、どうなっているか

A

ワクチン接種を円滑かつ安全に行えるよう努める



しば さき しげ お 柴 崎 重 雄



映像は こちらから

Q 新型コロナ収束に有効なワクチン接種体制について①コールセンター設置は②医療従事者の接種状況は③ワクチン接種券の作成と発送は④市内の会場とスタッフの確保は⑤担当医師、看護師等の募集方法は⑥ワクチンの有効性と安全性への配慮は

A ①市民からの問い合わせに適切に対応すべく3月1日から開設した。②医療従事者への接種は県が実施し、深谷赤十字病院が指定されている。開始は3月中旬以降を予定している。③65歳以上の高齢者は、約4万2千人である。ワクチン供給を受け次第、順次接種を開始する予定である。16歳から65歳未満は未定であるが、国は接種の終期を令和4年2月28日としている。④集団接種会場は、岡部・花園公民館で毎週木曜・土曜午後・日曜を予定している。医療機関は、あねとす・皆成・菊地・北深谷・桜ヶ丘・佐々木・深谷中央の各病院と

なり接種日は調整中である。スタッフは人材派遣会社への委託等により準備を進めている。⑤医師会、薬剤師会に派遣依頼。⑥95%の有効性発症を防ぐが確認されている。重大なアナフィラキシーへの対応体制も整える。

一 渋沢栄一翁顕彰

関連事業の状況は

Q 栄一翁関連施設の見学者数は何人か。また、深谷大河ドラマ館の前売券は、どの位販売できたのか。

A 4月から2月までの見学者数は総数で10万人超である。前売券販売は、4,789枚である。



Q

渋沢栄一翁関連施設が混雑しており、その対策は

A

交通誘導警備員を配置し、混雑の解消に努める



たけ い しん い 武 井 伸 一



映像は こちらから

Q 大河ドラマが始まり、多くの見学者が訪れており、大変混雑している。特に駐車場を含め何か対策は。

A 渋沢栄一翁関連施設に交通誘導警備員を配置し、混雑解消・見学者の安全確保に努める。

一 関連施設の

有料化を考えているか

Q 関連施設には、多額の維持管理費がかかる。見学を有料にするべきとの声がある施設を有料にする考えはあるか。

A 市ではこれまで、渋沢栄一翁顕彰事業として、市民に広く栄一翁の業績を知ってもらうため、施設を無料としてきた。将来的に、見学を有料にしていくのか、関係部署と連携を図り、調査研究していく。

一 徒歩での見学者の通路は

記念館から中の家までの通路は、



拡張された「中の家」の駐車場

定めているのか。また見学者が楽しみながら移動できる見学通路を作れないか。

A 青淵公園内の清水川沿いの遊歩道を案内している。青淵公園は、青淵由来の跡碑や、渋沢栄一翁の名言をたどりながら中の家まで行くことができるため、今後も見学者が楽しめる通路としてPRに努めていく。

一 尾高惇忠の銅像を作れないか

Q 尾高惇忠の顕彰事業として、銅像作りはできないか。

A 市ではその考えはないが、機運が盛り上がり協賛会のような組織が立ち上げられれば設置場所等協議する。

Q

埼玉県ケアラー支援条例を、どう捉えているのか

A

関係機関と連携を図り、ケアラーを支援していく



しみず けん い 清 水 健 一



映像は こちらから

Q 県内の後期高齢者は約99万人、4年後には約121万人に達し、介護需要がますます高まる中、家族等の介護をしている人を支えるという、全国初の条例だが、相談体制の充実が必要と考えるが、見解を伺う。

A 多種多様な課題を抱えるケアラーを支援できるよう、ワンストップ型の総合相談窓口設置に向けた準備を進め、体制の構築に努めていく。

Q 18歳未満の児童生徒が、家族等の介護をしている、ヤングケアラー支援のために、実態調査を行うべきと思うが見解を伺う。

A 福祉部門が中心となり、教育委員会等と連携をして、ヤングケアラー実態把握の方法を検討していく。

一 デジタル人材の確保は大丈夫か

Q 国は、デジタル庁を創設し「自治体トランスフォーメーション(以下DX)推進計画」に沿って自治体

そもそもケアラーとは……? ケアラー=介護者のこと。

高齢者や子どもなどの看病、療育、世話、気遣いなど、無償でケアするインフォーマルな担い手



インフォーマルケア = 公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援 (フォーマルサービス) 以外の支援のことです。具体的には、家族、近隣、友人、民生委員、ボランティア、非営利団体 (NPO) などの制度に基づかない援助などが挙げられます。